日本スポーツ健康科学誌
Japanese Journal of Sport and Health Sciences

投稿規定

Ⅰ 論文の募集と採否

1. 日本スポーツ健康科学誌は，スポーツ健康科学の実践，臨床，研究および教育に役立つ研究や活動報告等の情報提供をすることを目的とします．投稿論文は，学術的な中身と共に，実践的な研究・報告も広く歓迎します．
2. 原稿は和文および英文とし，他誌に発表済・投稿中でないものに限ります．
3. 依頼原稿を除き，論文筆頭者は，原則として日本スポーツ健康科学学会会員に限ります．
4. 編集委員会に送付された原稿は，編集委員会が依頼した論文審査委員会によって査読され，編集委員会はこの査読結果をもとに原稿の採否，掲載順，印刷時の様式などを決定します．また場合により著者に内容の追加あるいは短縮等の修正を求めることがあります．
5. 修正を求められた原稿は，できるだけ速やかに再投稿してください．返送の日より3か月を越えて再投稿もしくは連絡がない場合は，取り下げしたものとみなします．また，再投稿された論文については，再審査の結果採用されない場合や，さらなる修整をお願いする場合もあります．
6. 二重投稿，盗用など重大な過ちが判明したときは，編集委員会および理事会の議を経て処分が決定されます．
7. 掲載された原稿の版権は日本スポーツ健康科学学会に帰属します．掲載された論文の一部もしくは全部を，日本スポーツ健康科学学会のホームページ上で公開することがあります．
8. 他社の版権に帰属する資料を引用するときは，著者がその許可申請手続きを行って下さい．
9. 投稿原稿は原則として返却しません．付図・表・写真等で返却希望があれば投稿時にその旨申し出て下さい．
10. 倫理上の配慮が必要な研究を記述する場合は，所属機関・組織での倫理審査を受けた旨，もしくは下記の倫理的配慮した内容を論文に明記して下さい．ヒトを対象にした論文は，世界医師会総会において承認されたヘルシンキ宣言（1964年承認，2000年修正）の精神に則って行われた研究であることを明記しなければなりません．また，動物を用いた研究についても「実験動物の飼育及び保育等に関する基準」（昭和55年3月総理府告示第6号）等を遵守して行われた研究であることを明記しなくてはなりません．このように本誌の投稿にあたっては，倫理的配慮を明記することを義務づけるものとします．
11. 実践報告において団体名や個人名などの固有名詞を表す場合，その固有名詞によって論文のオリジナリティを高めるものである場合，人権尊重を前提として所属機関・組織において「固有名詞の掲載」が許可されたものであれば，本学会はこれを認めるものとします．なお，この際の掲載に関する一切の責任は著者自身が負うこととなります．編集部が依頼した企画以外の投稿については，当分の間，論文1編につき一律掲載料10,000円を申し受けます．

Ⅱ 執筆要項

12. 原稿の種類は，「総説」，「原著」，「短報」，「実践報告」，ならびに「資料」とします．
    - 「総説」：和文とする．新しい事実や解析を報告するというより，すでに公表された題材を再提示するもの
    - 「原著」：研究視点が新しくユニークで，研究論文としての体裁が整っており，かつ論旨が明確なもの
    - 「短報」：新しい発見や概念をより早く発表するもので，原著と同じ形式で短くまとめたもの

Presented by Medical*Online

・ 「実践報告」：スポーツ健康科学に関する活動報告等で，公表することがスポーツ健康科学の発展に寄与しうるもの

・ 「資料」：スポーツ健康科学に関する記録等で会員に参考となるもの

13. 原稿を作成するにあたっては，以下の点に注意してください．原稿には，2つの形式があります．

・ A4用紙に執筆して投稿する場合

なお，この場合，論文が受理された後，印刷会社において組版の上発刊となるため，組版編集代を実費請求します．

・ 学会ホームページの執筆要領に添付されているカメラレディ形式のテンプレート書式をダウンロードし形式通りに執筆投稿の場合

なお，この場合，論文が受理された後，修正原稿をカメラレディ形式で再提出し，そのまま発刊となります．費用は実質かかりません．

以下は，A4用紙で執筆して投稿する場合の要領を示します．

① 原稿は和文・英文ともに原則として12ポイントの文字でA4用紙に30行で印字して下さい．第1ページには，タイトル，省略タイトル，著者名（全員をフルネームで），全員の所属，論文の種類を，和文と英文の両方で記載して下さい．また、論文筆頭者の連絡先住所，電話番号，ファクス番号，電子メールアドレスを記載してください．

② 第2ページには400字以内の邦文抄録，キーワード（5語以内）を記載して下さい．

③ 第3ページには，250ワード以内の英文抄録および英文キーワード（5語以内）を記載して下さい．

④ 本文は第4ページ以降に記述します．章立ては原則として以下のとおりとします．緒言(Introduction)，方法(Methods)，結果(Results)，考察(Discussion)，まとめ・結論(Conclusion)，文献(References)．なお，結果と考察を1つの章にまとめても構いません．

⑤ 図表は，文献も含めた本文のあとに，1ページに1つずつ記載して下さい．図表番号は図1，表1などとし，これに説明をつけて下さい．

⑥ 図および写真は濃淡のはっきりしたものとし，原則としてモノクロとします．カラー印刷希望の場合は，その旨を記載して下さい．なお，カラー印刷にかかる費用は，著者負担となります．

⑦ 原稿中の単位は，原則として国際単位系（SI）に従って下さい．ただし，ppm, dL, kcal, mm Hgなど，慣用的に広く使われている単位を使用しても構いません．なお，ℓ（リットル）は，数字の「1」との誤認を避けるため，大文字の「L」を使用して下さい．

Ⅲ 文献の記載

14. 引用文献は，本文中の該当個所の右肩に番号を付けます．1つの事象について複数の論文を引用する場合は，[1,5,7]あるいは[8~15]のように書きます．著者名を引用する場合は，3名以上の連名のときは，“など”あるいは“et al.”と記述して下さい．末尾文献リストは著者名をABC順に整理し，本文の番号と照合して下さい．なお，引用がホームページの場合（引用文献がURLの場合），文部科学省，厚生労働省のような「公的機関」や「独立行政法人」の場合はこれを認め，「株式会社」等の営利団体の場合は原則として認めません．「財団法人」や「NPO法人」の場合，投稿者による引用の判断をお願いします．

① 論文の場合

著者名（共著者も全て記載）：論文名，雑誌名（正式な略称），巻（号）：頁-頁，発行年（西暦）．

1）南和広，寄本明，樫村修生：運動時生体負担に低圧低酸素環境が及ぼす影響，ウオーキング研究，13（3）：181-185，2009

2）Yorimoto A., Nishikawa N., Sakate S.: The Danger of Dehydration and Heatstroke in the Walking of Middle aged and Elderly Persons in the Summer, Jpn. J. Phys. Fitness sports Med., 55(1): 75-80, 2006.

Presented by Medical*Online

② 単行本の場合

著者名（共著者も全て記載）：論文名， 書名，出版社名，発行地，頁－頁，発行年（西暦）．

1） 高橋久光，夏秋啓子，牛久保明邦，樫村修生：熱帯農業と国際協力，筑波書房，東京，pp. 241-253，2006.

2）Jack H. Wilmore, David L. Costill, and W. Larry Kenney: Physiology of Sport and Exercise, Fourth Edition. Human Kinetics, Illinois, 116-117, 2012.

③ ホームページの場合

機関名： HP 内タイトル名，下層タイトル名，URL，閲覧年またはサイトアップ年．

1）厚生労働省：平成 23 年国民健康・栄養調査報告，第 4 部年次別結果，http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/dl/h23-houkoku-07.pdf，2013.

Ⅳ 原稿送付

15. 原稿の投稿は，原稿の電子ファイルを電子メールにて下記事務局宛にお送り下さい．ファイル形式は，PDF ファイルを基本とし，次の 2 つのファイルをお送り下さい．①本文，図，表等の順で全て 1 つにまとめた PDF ファイル（オリジナルファイル）．②オリジナルファイルから，著者名・所属の記載，謝辞の記載を取り除いたファイル（査読用ファイル）を作成して下さい．また，PDF ファイル作成が困難な場合は，ワードファイル形式でも受け付けます．その場合も，上記と同様に，①オリジナルファイル，②査読用ファイルの 2 つのファイルをお送り下さい．本文は各ページ 30 行．作成したワードのバージョン，作成 OS をお知らせ下さい．ならびに特殊文字をお使いの場合はその旨お知らせ下さい．ワードファイルの場合，事務局にて PDF ファイルへの変換を行います．PDF ファイルへの変換の時に，文字化けが起こる可能性がある場合には，印刷原稿の送付をお願いする場合もあります．
16. 投稿中の文章ファイル紛失事故に対処するため，お手元にデータを保存して下さい．
17. 事務局メールアドレス事務局に到着した日を原稿受付日として誌上に明記致します．なお，著しく執筆要領を逸脱したものは事務的に返却し，形式が整った時点を受付日とします．
18. 共著の場合は校正者を指定して下さい．著者校正は原則として 1 回とします．
19. 別刷をご希望の場合は，50 部単位で実費作成といたします．著者校正の際，必要部数をご連絡ください．

日本スポーツ健康科学学会事務局
〒191-8510
東京都日野市大坂上 4-1-1
実践女子大学 運動生理学研究室
TEL & FAX: 042-585-8962
e-mail: JSSHS2013@gmail.com

Presented by Medical*Online